

第 432 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2025 年 1 月 17 日(金) 17 時 00 分~18 時 00 分

場 所: 実習館 2 階研究所セミナー室

演 者: 劉 安豪 氏

東京科学大学 歯周病学分野 特任研究員

歯周炎骨破壊始動期における PTRM の炎症制御作用から
垣間見る IL-33/ST2 シグナルの多面性

歯周炎は古くから人類を蝕んできた疾病の 1 つであり、その最古の痕跡は紀元前 10 万年まで遡る。古代において歯の喪失は健康寿命の喪失と直結していたため、文明形成後、人々は口腔衛生管理を軸に、様々な方法を編み出し本疾病に抗ってきた。しかしながら、科学が劇的な進化をとげた 21 世紀においても、依然世界人口の 19%が重度の歯周炎に罹患しており、日本では中高年の半数が歯周炎に悩まされているため、その根本的な解決には違う角度からのアプローチが必要と考えられる。近年その糸口になりうる免疫学系の研究が盛んに行われているが、多くの研究は歯周組織の一部である歯肉のみを解析対象としており、解析のタイミングも主に発症後であったため、病態を部分的にしか反映できていなかった。本研究では上記の問題点を克服することにより、歯周炎に対する新たな知見を得られたので、歯根膜組織の役割を導入とし、IL-33/ST2 経路とそれに依存する歯周組織局在型マクロファージ (PTRM) に関する内容を中心に、その詳細について紹介させていただきたい。

Matsumoto Dental University
Graduate School of Oral Medicine

1780 Gobara, Hirooka, Shiojiri,
Nagano 399-0781, Japan

【略歴】

2016.6	上海交通大学歯学部	卒業
2018.6	上海交通大学大学院口腔医学研究科	修士課程 修了
2024.9	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科	博士課程 修了
2024.10~	東京科学大学 歯周病学分野	特任研究員

担当:硬組織疾患制御再建学講座 小林 泰浩 教授